

# サステナビリティへの取り組み

2019年2月に策定し、2022年4月に改定した「群馬銀行グループSDGs宣言」では、当行グループの事業内容や営業エリアから、特に貢献が可能なSDGs 10目標を中心に4つの重点課題を定め、事業活動を通じた社会・環境課題等への取り組みを進めています。

また、当行グループは、パーパス「私たちは『つなぐ』力で地域の未来をつむぎます」の実現に取り組んでいくことが、SDGs達成への貢献および持続的な社会の実現と経済的価値の創造につながっていくと考えています。



## 群馬銀行グループ SDGs 宣言 (GB Sustainability Policy 2030)

私たちは、地域社会の発展を常に考えた事業活動の推進を通じて、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献し、持続可能な社会の実現と経済的価値の創造に努めてまいります。



重点課題	取組方針	主な取組み
地域経済の持続的発展	地域の事業者の皆さまの成長支援や、地域活性化に向けた取組みを充実させるとともに、お客さまの多様なニーズに応じた金融サービスの提供により、地域経済の持続的な発展をサポートします。次世代の担い手を育成するため、地域の皆さまの金融リテラシー向上に向けた金融経済教育の充実や、持続可能なインフラ構築に向けた地域産業のイノベーション支援に取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 創業支援の充実</li> <li>● 事業承継課題への網羅的な取組み</li> <li>● 資産形成や資産承継等に資する金融サービスの提供</li> <li>● 高校や大学等での金融経済教育講義の実施</li> <li>● PFI等の支援による財政・インフラの課題解決</li> </ul>
地球環境の保全と創造	環境保全や美しい環境の創造に取り組むお客さまの支援や、私たちの事業における環境負荷の低減に努めるとともに、気候変動対策の充実に取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 再生可能エネルギー向け融資や省エネローンの取扱い</li> <li>● 再生可能エネルギー開発支援に向けたファンド創設</li> <li>● 「温室効果ガス排出量 2030年度ネットゼロ」の目標設定</li> <li>● 群馬銀行環境財団を通じた環境保全活動支援</li> </ul>
多様な人材の活躍推進	女性や若年層、シニア層などすべての職員が生き生きと活躍できる職場づくりに向けて、役職員の多様性を高め、その活躍に向けた育成や柔軟な働き方の実現に取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「L-NEXT」(女性活躍促進チーム)など女性活躍推進に向けた取組み</li> <li>● 柔軟な働き方の実現に向けた制度・環境整備</li> </ul>
パートナーシップの推進	地方公共団体や法人、個人のお客さまなどとのパートナーシップにより、地域全体で持続可能な社会の実現に向けて取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ぐんぎんSDGs私募債による啓蒙とSDGsに資する活動支援</li> <li>● 地方公共団体等との連携による地域全体でのSDGs推進</li> </ul>

※ (NEW) : 2022年4月、新たに加えたSDGs3目標。今後もSDGs達成に向けた取組みを加速させていくなかで見直しを行っていきたく考えます。

### 環境方針

群馬銀行は、2009年5月に制定・公表した「群馬銀行環境方針・環境行動基準」に基づき、自ら環境負荷の低減に取り組むとともに、群馬銀行環境財団を通じて環境保全活動の支援や環境保全教育にも取り組み、事業活動を通じて環境保護に貢献できる金融商品の販売を行うなど、環境保全に関する積極的な取組みを続けています。詳細についてはこちらよりご覧いただけます。

(<https://www.gunmabank.co.jp/about/csr/torikumi/kankyo.html>)



## 気候変動への取組み

群馬銀行は、「群馬銀行グループSDGs宣言」の重点課題の1つである「地球環境の保全と創造」に向けた取組みとして、2020年7月にTCFD※提言への賛同を表明し、気候変動が当行の経営にもたらす影響などに関する情報開示を積極的に行っています。

気候変動への取組みの詳細については、こちらよりご覧いただけます。  
(<https://www.gunmabank.co.jp/about/csr/torikumi/kikohendo.html>)



※ Task Force on Climate-related Financial Disclosures  
(気候関連財務情報開示タスクフォース)



## 温室効果ガス排出量削減目標と実績

### 従来の目標

2025年度 2013年度比23%以上削減  
2030年度 2013年度比26%以上削減

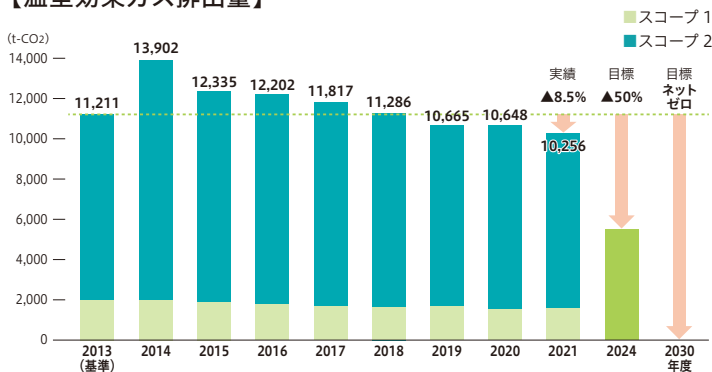
### 目標

2024年度 2013年度比50%削減  
2030年度 **ネットゼロ**

地域の環境課題解決に積極的に取り組むことで、脱炭素社会の実現や社会の持続的発展に貢献していくため、2022年1月、当行における温室効果ガス排出量削減目標を見直し、「2030年度ネットゼロ」を目標として設定しています。2021年度の温室効果ガス排出量は、10,256t-CO<sub>2</sub>であり、2013年度比8.5%の削減となりました。

なお、2022年4月より本店ビルの電力は再生可能エネルギー由来の電力に切り替えており、現在、本店ビルの電力使用に伴う温室効果ガス排出量は実質ゼロとなっております。今後、再生可能エネルギー由来の電力を使用した店舗や現在一部の店舗に導入済みの太陽光発電を設置した店舗を増やすとともに、電気自動車の導入や省エネルギー設備への更新等を行い、脱炭素に向けた取組みを一層強化してまいります。

### 【温室効果ガス排出量】



(単位：t-CO<sub>2</sub>)

	2013年度	2019年度	2020年度	2021年度
スコープ1	2,019	1,679	1,527	1,609
スコープ2	9,192	8,986	9,121	8,647
合計	11,211	10,665	10,648	10,256

スコープ1：当行自らによる直接排出（重油、都市ガス、ガソリン等）  
スコープ2：他社から供給された電気、熱、蒸気の使用に伴う間接排出（電気、冷水、蒸気等）  
※省エネ法の定期報告書に準拠し算出。ガソリンにおける排出量は、年間平均ガソリン単価、排出係数を用いて算出。

※温室効果ガス排出量の算出範囲は、当行国内拠点におけるスコープ1、スコープ2。  
※過年度の排出量については、精緻化のため、基準年の排出係数を用いた算定値から各年の法定報告で用いる排出係数を用いた算定値に更新しています。

## 紙（コピー用紙）の使用量削減目標と実績

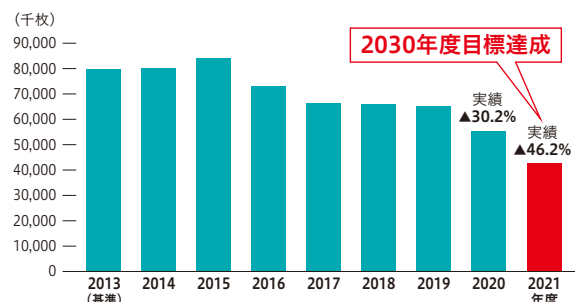
2020年7月、紙（コピー用紙）使用量削減の目標を設定し、削減に取り組んでいます。2021年度は、2013年度比46.2%削減となり、2030年度目標を大幅に前倒して達成しました。

また、温室効果ガス排出量算出においては、スコープ3の算出に向けた検討を進めております。その中でも、紙購入にかかる排出量を削減することは、当行のデジタル戦略における業務プロセス改革の推進等とも関連する重要な施策と考えています。引き続き、紙の使用量の削減を推進することで、紙購入による温室効果ガス排出量の削減に努めるだけでなく、スコープ3の計測も充実させてまいります。

### 目標

2025年度 2013年度比30%削減  
2030年度 **2013年度比40%削減**

### 【紙（コピー用紙）使用量】 (A4コピー用紙に換算した枚数)



【参考】2021年度の紙（コピー用紙）購入における温室効果ガス排出量：263t-CO<sub>2</sub>

## サステナブルファイナンスへの取組み

気候変動や人口減少等の社会課題への対応が急務となる中で、社会課題の解決に資する資金やアドバイスを提供できる金融（サステナブルファイナンス）の重要性が高まっています。当行では、サステナビリティ・リンク・ローンやぐんぎんSLL、事業承継を切り口としたストラクチャー付

コベナンツ融資、SDGs 私募債、再生可能エネルギー事業向け融資、震災時・豪雨災害時元本免除特約付き融資等を取扱い、お客さまのフェーズに合わせて適切なアクションを起こし、サステナブルファイナンスや各種ビジネスマッチング等につなげています。

### サステナブルファイナンスに取組む意義

サステナブルファイナンスは、環境・社会面に大きく貢献でき、地域の持続的成長（社会的価値の向上）につなげることができます。また当行にとっても、同ファイナンスの取組みを強化することで、貸出金利息の増強（経済的価値の

向上）につなげることができます。社会的価値および経済的価値が向上することで、「パーパス」実現に向けて加速することができると考えています。

## 群馬銀行グループによるお客さまのSDGs取組みに対する支援

SDGs 取組支援サービス（2022年度上期導入予定）

SDGsの理解・  
必要性啓発

- ヒアリングシートに基づき、現状の取組み状況を確認
- フィードバックシートにて取引先と対話を行い、課題等を把握
- 取引先の事業に応じた「SDGs宣言書」の策定を支援
- 取組姿勢の表明により「社会的信頼」と「従業員満足の向上」に貢献

優先課題の  
決定

環境	人権・労働	公正な事業慣行 組織体制	製品 サービス	社会貢献 地域貢献
----	-------	-----------------	------------	--------------

課題解決に「つなぐ」ソリューション提案

項目	主な内容	グループ会社
SDGs 関連コンサルティング	SDGs に関する KPI の設定、研修等	ぐんぎんコンサルティング
脱炭素関連		
温室効果ガス排出量測定・可視化	温室効果ガス排出量可視化クラウドサービス	
カーボン・オフセット	J-クレジットの販売	
再生可能エネルギー設備導入	太陽光設備等導入支援	
その他社会課題解決に資する支援		
事業承継	事業承継計画策定支援 資本性資金の供給、ハンズオン支援	ぐんぎんコンサルティング ぐんま地域共創パートナーズ
ハイレベル人材の採用	人材紹介業務	
BCP コンサルティング	BCP 策定支援、BCP 訓練の実施支援	
人事労務・人材育成研修	人事労務規定の策定、人材育成研修	ぐんぎんコンサルティング
需要予測サービス	気象や販売データ等を用いた需要予測	

ソリューション  
提案に基づいた  
ファイナンス・  
補助金等

サステナブルファイナンス	サステナビリティ・リンク・ローン、ぐんぎんSLL 事業承継を切り口としたストラクチャー付コベナンツ融資、SDGs 私募債 再生可能エネルギー事業向け融資 震災時・豪雨災害時元本免除特約付き融資、等
補助金サポート	工事・事業場における先導的な脱炭素取組み支援事業 先進的省エネルギー投資促進支援事業費補助金 太陽光発電設備等の価格低減促進事業
利子補給	省エネルギー設備投資に係る利子補給金

## その他の支援活動

### 群馬銀行環境財団の活動

自然と人間が共生できる環境を確保し、地域社会の発展に寄与することを目的に設立された公益財団法人群馬銀行環境財団では、環境保全および環境の調査・研究に対する啓発・助成活動に取り組んでいます。

助成活動として、群馬県内の小・中学校や高等学校の中から環境改善や保全に関する実践的で優れた活動を行った学校を「群馬銀行環境財団教育賞」として、また自然環境の保全活動や調査研究に優れた業績をあげた団体を「群馬銀行環境財団賞」として毎年表彰しています。また啓発活動として、小学生対象の「エコ・キッズキャンプ in 赤城山」、中学生対象の「環境探検隊」を実施しています。(2020～2021年は新型コロナウイルスの影響で未実施)

### 尾瀬保護財団への寄付

自然環境保護ファンド「尾瀬紀行」を取扱っています。「尾瀬紀行」は当行と委託会社が受領する信託報酬の一部を尾瀬の環境保全活動を行う尾瀬保護財団に寄付するファンドです。また、株主優待「寄付コース」による同財団への寄付も取扱っています。

《2021年度実績》

- 「尾瀬紀行」による寄付……………821,364円  
(群馬銀行・ぐんぎん証券合計) (累計:16,494,664円)
- 株主優待「寄付コース」による寄付……………289,500円  
(累計:684,500円)

### 「ぐんぎんの森」整備活動

2011年から環境保全活動の一環として、群馬県と締結した「県有林整備パートナー事業実施協定」により指定された森林を「ぐんぎんの森」と命名し、その整備・保全活動に取り組んでいます。

## 社会貢献活動

### 群馬県世界遺産・ぐんま絹遺産継承基金への寄付

当行と委託会社が受領する信託報酬の一部を世界文化遺産「富岡製糸場・絹産業遺産群」の保護活動のために寄付を行う投資信託「群馬の絹遺産」を取扱っています。また、株主優待「寄付コース」による基金への寄付も取扱っています。

《2021年度実績》

- 投資信託「群馬の絹遺産」による寄付(群馬銀行・ぐんぎん証券合計)  
769,975円(累計:8,454,876円)
- 株主優待「寄付コース」による寄付  
51,000円(累計:156,000円)

### 金融教育への支援

#### ①群馬大学への講師派遣

2017年度より群馬大学との連携講座を実施しています。2021年度は「金融リテラシー講座」に講師3名を派遣し、金融経済について講義を行いました。

#### ②若手行員による「金融教育授業」の実施

高校生を対象に、若手行員の研修の一環として「金融教育授業」を実施しています。2021年度はオンラインで開催し、「お金との上手な付き合い方」をテーマに授業を行いました。

#### ③小中学生・高校生の体験学習の受入れ

地域の小中学校の児童・生徒の体験学習を各営業店で、高校生の企業見学を本店で受け入れています。

#### ④エコノミクス甲子園

高校生が楽しみながら金融経済に触れ、金融知力を身につける機会を提供するため、全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」の群馬大会を主催しています。

### スポーツ活動への支援

バレーボールのVリーグ女子2部(V2)に参戦している「群馬銀行グリーンウイングス」は、昨シーズン準優勝を果たしました。V1チームとの入替戦では惜しくも敗れ、悲願のV1昇格は来季以降に持ち越しになりました。

今後もVリーグのほか国体出場を目指して活動していくとともに、バレーボール教室などを通して地域社会への貢献活動も積極的に行っていきます。



(上)新ロゴマーク  
(右)2021-22シーズンの試合の様子

### 芸術・文化活動への支援

群馬交響楽団に対し、定期演奏会を協賛するなど活動を支援しています。

なお、群馬交響楽団は地域社会に密着した芸術活動を行っており、定期演奏会のほか、小中学生を対象とした移動音楽教室を開催するなど、地方における音楽文化の向上に貢献しています。

### ゴールドリボン支援自販機の設置

売上金の一部が認定NPO法人ゴールドリボン・ネットワークを通じて小児がんの治療研究開発などの支援に役立てられる「ゴールドリボン支援自販機」を設置しています。該当自販機で1本購入するごとに、代金の一部が小児がんの子どもたちへの支援になります。